

ニッテツスーパーフレーム®工法とは

「ニッテツスーパーフレーム工法」とは、新日鉄が開発した建物の躯体（骨組み）に関する工法で、現在は、3階建て以下の建物に適用可能です。

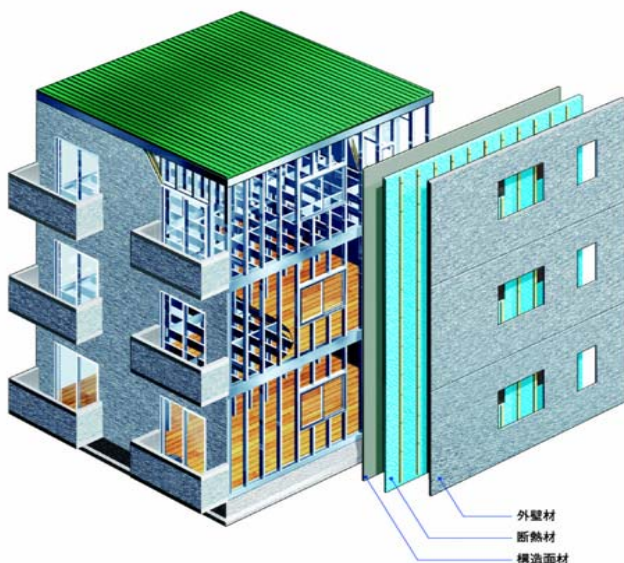
構造躯体は、亜鉛めっきを施した厚さ1ミリ程度の薄板軽量形鋼を使用しています。木質系・セラミック系の面材を組み合わせた、ハイブリッドな「枠組壁工法」（壁や床をパネルとして構成する工法）で、スチールハウス工法をベースに新日鉄が独自開発を加え、防耐火、遮音、温熱、耐久性などの諸性能を向上させています。

ニッテツスーパーフレーム工法を使用した建物の建設は、全国に広がる、当社が契約する建築事業者が担います。

新日鉄は、当社契約の建築事業者への「工法の提供」とともに、工法で使用される「スチール、金物、認定書、評定書の販売」を行っています。

ハイレベルな躯体性能

スチールハウスに新日鉄独自の開発を加えたニッテツスーパーフレーム工法は、防耐火・遮音・温熱性、耐久性や施工性を大幅に進化させました。



■ 構造性能

ニッテツスーパーフレーム工法は、頑強な薄板軽量形鋼造によって構成されます。3階建ての建築まで可能で、日本建築センターの技術評定を受けた新日鉄独自の厳しい設計基準に基づいて設計されます。

■ 防耐火性能

構造面材に燃えにくく劣化しにくいセラミック系の面材を採用した新日鉄の防耐火仕様は、3階建てにおける1時間耐火の国土交通大臣認定を取得しました。[ニチハ(株)と共同開発]

■ 温熱性能

住空間を断熱材で覆う外張り断熱工法を標準としたニッテツスーパーフレーム工法は、きわめて優れた断熱・気密性を発揮。室内を常に快適な環境に保ち、無駄なエネルギー消費を抑えます。

■ 耐久性性能

外張り断熱工法の断熱材の厚みを最適化することで、構造躯体のスチールに発生する結露の最少化が可能です。さらに、スチールに高耐食性めっき鋼板を使用することで品確法*の劣化対策等級の最高ランク（おおむね75年～90年）を取得しています。
*住宅の品質確保の促進等に関する法律

■ 遮音性能

- 界壁：空気伝播音の遮断性能 Rr-50（鉄筋コンクリート造の壁厚18cm相当）
- 界床：重量床衝撃音の遮断性能 LH-65（相当スラブ厚11cm（重量床衝撃音））を実現しています。

優れた経済合理性とメリット

